

魚野川溪谷 (野反湖～切明温泉)

2015.10.11～12 A氏と

登山地図を見ていて何時か歩きたいと思っていた魚野川溪谷(野反湖～秋山郷切明温泉間)。2003年の10/5に野反湖から白砂山～八間山に登った時に途中の地藏峠で切明温泉への下山道をしみじみ眺めたのを思い出す。あれから12年ひよんな事から歩く事が出来ました。このコースを歩く時の最大の課題は足の問題です。マイカーを使うと車の回収の問題が出てきます。(公共交通機関を使う場合も大きく迂回するので大変です) そんな事があって諦めていたのですが、釣友のA氏から来年のイワナ釣りの下見(魚野川の渋沢ダム付近)を兼ねて歩きませんかとの話が急浮上して実現しました。車の豚回し(切明温泉～奥志賀林道～志賀草津道路～旧六合村(日本語は難しいですね、これでくにむらと読みます)～野反湖間は96KMで2:30～2:50かかりました。天候にも恵まれ、紅葉の最盛期で素晴らしい山行になりました。Aさん有難うございました。

10/11(日) 小雨・曇り・晴れ 自宅 7:30～10:40(134KM) 切明温泉(1台車を置いて) 11:10～14:00(96KM) 野反湖キャンプ場(テント泊)

10/12(祭) 快晴・晴れ 白砂山登山口 6:00～6:50 地藏峠分岐～11:10 渋沢ダム 11:20～14:10 切明登山口 14:20～16:50 野反湖 17:10～(140KM、妻恋村つつじの湯で入浴) 21:35 帰宅

1日目～いつものように大町経由で長野市へ、11:00の約束時間が気になったので須坂長野東IC～信州中野間は高速利用する。志賀高原は3連休で大勢の観光客・カメラマンで賑わっている。紅葉もちょうど見ごろで見事であった。ここの紅葉も素晴らしい。奥志賀林道で栄村秋山郷切明温泉へ向かう。紅葉が見事、所々で車を止めて写真を撮る。

焼額山のプリンスホテル付近



鳥甲山登山口



鳥甲山の登山口を過ぎると切明温泉はすぐだ。11:00 前にAさんと合流して下山口のゲート前のPにAさんの車をデポして私の車で野反湖へ向かう。

切明温泉雄川閣で合流



奥志賀の紅葉



昨夜のグレートトラバース二百名山人力踏破第3集では田中陽希氏はゲートの看板を見間違えて通行止めと勘違いして急遽岩菅山経由で野反湖へ行き白砂山に登った。秋山郷の鳥甲山・佐武流山を登り本来は我々が明日歩く魚野川溪谷を登って野反湖へ向かう予定が。車でも3時間近くかかったのだから彼の足は速いし持久力が凄い。

志賀草津道路、噴煙が上がって



赤城山が見事



志賀草津高原ルートも賑わっていたが白根山は噴火の影響で駐車場が閉鎖されていて昔の賑やかさは全く無し。気になる看板が出ている。17:00以降は通行禁止だと書かれている。明日は切明に下山後の野反湖への車の回収は車の通れる17:00前にここを通過しないとダメになる。14:30には切明を出ないと間に合わなくなる。時間的に予定した切明温泉で汗を流す事が出来ないのが残念だ。野反湖キャンプ場に到着してテントの手続きをしてリヤカーに荷物を載せてテント場へ向かう。15分ほどかかった。テント場は湖畔で広々とした良い場所だった。トイレと洗い場(水道)があり、15張位若い人達を中心だった。何時ものように飲みながら釣りの話をして寝る。夜中気温は下がったが寝袋で寒いとは思わなかった。

リヤカー引いてテント場へ



テント場



2日目～4時過ぎに起床してテント撤収・朝食食べて登山口に向かう。軍手をして
いたが、手が冷たかった。(リヤカーの金属が原因)

白砂山登山口



地藏峠の分岐です



野反湖と後方は浅間山



岩菅山～笠法師山



登山口からは登りで地藏峠へ。いよいよ秋山郷への道へ。予想以上に手入れがされ
た広い登山道だ。熊笹を刈ったあともある、有難い。アップダウンしながら西大倉山

へ到着する。昔縦走した岩菅山～烏帽子岳～笠法師山の展望が良い。赤石山～大高山～三壁山も縦走したいと思っていたが展望した感じでは貧弱な山並みでその気が無くなった。西大倉山からは下りのみできのこを探りながら降りる。ムキタケ(カタハ・ノドヤケとも呼ばれる主にブナ林に多い)を沢山採る。これは水気があるので重い。ナメコ・クリタケも採れた。お蔭で30分コースタイムよりかかって渋沢ダムに到着する。イワナ釣り師が遠方からもやって来るエリアである。工事の人達が作業中だった。川の様子を見てから下山する。時間が苦になってきたのでここからはキノコ採りはしないで真面目に歩く事にする。何と「黒部川下の廊下の水平歩道」のような水平な道が延々と続く。

ダムから下流を望む



渋沢ダムで



水平歩道が延々と続く



小黒部的趣



川はかなり下を流れている。本当に「小黒部的な趣」がある。岩をくりぬいたような箇所は少なく道幅も広めであるがトンネルもいくつかあるし、転落防止の柵も多い。紅葉もモミジの赤色があって見事である。気持ちの良いルートである。

猿面峰と左がワルサ峰



切明温泉が見えてきました



足の問題があつて歩く人が少ないのが残念だ。紅葉期は超お薦めのコースである。特に危険な箇所もないし。佐武流山～猿面峰～ワルサ峰が見えてくる。昔登ったので懐かしい。切明温泉が近づくると急な下りになり、橋を渡ると林道歩きになってコースタイムより10分早く車をデポしたゲート先の駐車場に着く。

ゲートに到着しました



今日は途中で会ったのは野反湖へ向かう若い単独行と切明温泉～渋沢ダム間の往復の70歳位の人（この人は年の割に足の速い人だった）だけだった。Aさんの車で昨日走った道で又野反湖へ私の車を回収するために向かう。昨日より早く2:30で着く。白砂山から下山した登山者もいる。今日は10組以上登ったようだ。まだ車が6台ほど停まっている。此处でAさんと

は解散して帰路へ。須坂経由が近いのだが17:00以降通行止めなので仕方なく長野原～妻恋村～上田市～三才山トンネル経由で帰宅することにする。妻恋村のつつじの湯で休憩を兼ねて入浴して遅い帰宅となる。